

青 消 号 外  
令和6年10月31日

報 道 機 関 各 位

青森県危機管理局消防保安課長  
( 公 印 省 略 )

令和6年度「青森県防火の集い」十和田大会の開催について

このことについて、別添のとおり開催しますので、取材についてよろしくお願ひします。

記

- 1 日 時 令和6年11月5日(火) 13時00分～  
2 場 所 十和田市民文化センター 大ホール(十和田市西三番町2-1)  
3 次 第 別添のとおり

報道機関用提供資料	
担当課	危機管理局消防保安課
担当者	消防・予防グループ 総括主幹 福士和宏
電話番号	直通：017-734-9087
	内線：4131
報道監	危機管理局 次長 佐藤広之

## 住宅用火災警報器の設置・点検をしましょう！

住宅用火災警報器は住宅等への設置が義務化されてから10年以上が経過しました。火災の早期発見、早期避難により命が助かった事例が数多くあります。

- 設置していないお宅は早めの設置をお願いします。
- 設置済みのお宅は定期的に点検をしましょう。

- ・「寝室」に設置することが条例で義務付けられています。  
(2階に寝室がある場合は階段の上にも必要です。)
- ・火を使う台所への設置も心がけましょう。
- ・住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどがあることから、10年を目安に交換しましょう。

※消防署では住宅用火災警報器は販売していません。(一社)青森県消防設備保守協会会員企業やお近くのホームセンターなどにお問い合わせください。

青森県消防設備保守協会 検索



「十和田湖の紅葉」

# 令和6年度 青森県防火の集い 十和田大会

令和6年11月5日(火) 13:00～

十和田市民文化センター 大ホール (十和田市西三番町 2-1)

主催：青森県／青森県幼少年女性防火委員会／十和田地区幼少年婦人防火委員会  
共催：一般社団法人青森県消防設備保守協会／一般財団法人日本防火・防災協会／公益財団法人青森県消防協会  
後援：十和田地域広域事務組合

## 防火宣言

- 自分の家庭からは、絶対に火事を出さないように努めます。
- 住宅用火災警報器の設置促進を図り、安全・安心な地域づくりに努めます。
- 身体の不自由な人やお年寄り、子供たちを火災から守ります。
- クラブ活動の輪を広げ、防火の仲間を増やします。

お楽しみ抽選番号

## はじめに

「青森県防火の集い」は、今年度の十和田大会で32回目の開催を迎える運びとなりました。これもひとえに皆様の多大なる御支援、御協力によるものと深く感謝申し上げます。

さて、令和5年における全国の住宅火災による犠牲者数は977人にのぼっており、多くの尊い命が失われています（放火自殺者を除く）。

本県における令和5年中の火災発生件数は436件、出火率（人口1万人当たりの出火件数）は3.56、火災による死者数は46人、死者発生率（人口10万人当たりの死者数）は3.75となっており、このうち、死者発生率については全国ワースト1位と大変厳しい状況となっています。今年8月末時点では、442件の火災が発生しており、すでに25人の方が犠牲となっています。

平成16年の消防法改正を受け、青森県内では平成20年6月から全ての市町村において、住宅用火災警報器を設置することが義務付けられ、既に10年以上が経過していますが、消防庁の調査結果では、令和6年6月1日時点の本県における設置率は80.4%（全国第33位）と、設置率の改善に向けた更なる取組が必要な状況です。

住宅火災による犠牲者を減らすためには、私たちの家庭から火災を発生させない心構えが何よりも重要です。そのためにも幼年消防クラブ、少年消防クラブ及び女性（婦人）防火クラブ等の民間防火組織が一丸となって、それぞれの地域において積極的な防火活動を展開し、防火意識を高めていくことが大切です。

また、近年、地震や豪雨等による災害が各地で頻発しており、地域防災力の重要性が増しておりますが、女性防火クラブ等は防災に関する組織としても取組が期待されています。

この大会を契機として、住宅用火災警報器設置の一層の促進が図られるとともに、安全・安心な地域社会を目指し、防火・防災の輪がさらに広がることを祈念いたします。

2024年度 全国統一防火標語  
守りたい 未来があるから 火の用心

## 青森県の火災状況（令和5年・速報値）

### 1 出火件数 436件（全火災）

- ①建物火災 285件（うち住宅火災 173件）
- ②林野火災 9件
- ③車両火災 30件
- ④船舶火災 2件
- ⑤その他 110件

### 2 火災による犠牲者 46人（全火災）

- ①住宅火災による犠牲者（放火自殺者を除く）35人（全火災による犠牲者の約76%）
- ②住宅火災による高齢者の犠牲者（放火自殺者を除く）26人（住宅火災による犠牲者の約74%）

### 3 建物火災1件当たりの損害額 約476万円

### 4 主な出火原因（全火災のうち多い順）

- ①たき火 43件
- ②電灯電話等の配線 28件
- ③たばこ 24件
- ④ストーブ、こんろ、放火・放火の疑い、火入れ 22件

## program

開会の言葉	十和田地区幼少年婦人防火委員会 会長 寺地 充宏
主催者挨拶	青森県副知事 小谷 知也
開催地挨拶	十和田市長 小山田 久
活動報告	1 新川原婦人防火クラブ（十和田市） 『十和田地区婦人防火クラブ連絡協議会十和田湖支部活動報告』 2 薬師女性防火クラブ（三沢市） 『地域の福祉施設と連携した消防訓練について』 3 ミューズ保育園チビッコ消防隊（三戸町） 『ミューズ保育園チビッコ消防隊の活動紹介』 4 花松少年消防クラブ（七戸町） 『花松少年消防クラブの活動報告』
基調講演	一般社団法人 ドローンイノベーションネットワーク 理事（技術顧問） 高見 雅之 氏 演題『ドローンの活用で変わる災害対応』
住宅用火災警報器等抽選会	一般社団法人 青森県消防設備保守協会 会長 千葉 進
防火の宣言	十和田地区婦人防火クラブ連絡協議会
閉会の言葉	青森県幼少年女性防火委員会 会長 奈良 康明

